



United Nations
General Assembly

Distr.: general
24 March, 2023
Original: Japanese

国連総会 第一委員会

Agenda item: 安全保障理事会の議会席拡大と衡平配分と関連事項

Sponsor: Brazil, France, Germany, Ghana, Indonesia, Japan, Kenya, Mozambique, Nigeria,
South Africa, Ukraine, USA

国連総会は、

国際の平和と安全の維持を担う第一義的な機関でありながら、機能不全に陥っている安全保障理事会の改革を早急に進めなければならないことを認識し、

現行の安全保障理事会が国際平和及び安全の維持の責務があるのにも関わらず、その理事国体制によって意見が十分に反映されていない地域及びグループがある現状を考慮し、

全ての常任理事国が同等の権利を持つ必要性を認識し、

常任理事国による拒否権の施行が国際社会の安全の改善を妨げていることを強く非難し、

近年でもシリア情勢、ミャンマー情勢、ウクライナ侵攻等で、拒否権が発動されるために、虐殺が止められず、人道支援ができないというケースが起きていることを遺憾に思い、

常任理事国と非常任理事国や非理事国との間で情報の格差が非常に大きいことを憂慮し、

非常任理事に選出されたことのない国の意見が安保理の議論において十分に反映されていない現状を考慮し、

1. 従来の国家間の連携の枠を超えた、より広範で実利的な協力体制の構築を国際社会に強く要請する；
2. 安保理の議席を以下の通り拡大することを要請する；
 - a) 現行の常任理事国5カ国に加えて、以下のように席数を6カ国追加すること、
 - i. アフリカから2議席、
 - ii. アジアから2議席、
 - iii. ラテンアメリカから1議席、
 - iv. ヨーロッパ地域から1議席；
 - b) 現行の非常任理事国10カ国に加えて、以下のように席数を5カ国追加すること；
 - i. アフリカから2議席、
 - ii. アジアから1議席、
 - iii. ヨーロッパ地域から1議席、
 - iv. ラテンアメリカから1議席；

3. 新しい常任理事国に対し、拒否権を含め、現在の常任理事国と同じ特権を与えることを主張する；
4. 以下のどちらかを満たす場合、新常任理事国、常任理事国ともに拒否権が無効になることを強く要請する；
 - a) 国連加盟国の3分の2の投票,
 - b) 常任理事国の2カ国以下の拒否権の発動；
5. 大量虐殺や人に対する罪などが確認された場合、常任理事国はそれを止めるための決議案などへの拒否権行使を自主的に抑制することを促す；
6. 安全保障理事会の常任理事国に対し、以下のことを推奨する；
 - a) 非公式会合での議事録を作成し公開すること,
 - b) 段階的に透明性の確保を目標とした取り組みを拡大していくこと；
7. 必ず1地域からは今まで非常任理事国に選出されたことのない国を非常任理事国として選出し、その地域を任期でローテーションさせるよう強く要請する.